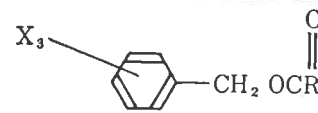


## 特許・実用新案一覽

—昭和54年度—

## &lt;日本特許&gt; 5件

特許番号 公告番号	名称 出願日	登録日 発明者	要 旨
1) 「ジクロロブテンの安定化法」 特許番号第566276号 特公昭44-20330 特願昭43-6478 迫村寿男 木佐木尚 堤 幸弘	登録45. 2.17 公告44. 9. 2 出願43. 2. 2		3,4-ジクロロブテン-1または1,4-ジクロロブテン-2の相互への異性化防止と同時に分解、重合を防止するために系内に一般式(RX)P(ただしRはアルキル基および/またはアリール基、XはOまたはS)なる亜リン酸エステル類の一種またはそれ以上存在させることを特徴とするジクロロブテンの安定化方法。
2) 「フィルム状プラスチッククラップの再生方法」 特許番号第572818号 特公昭44-31805 特願41-10006 明石忠夫	登録45. 5.14 公告44.12.18 出願41. 2.19		フィルム状プラスチッククラップを適当な幅に切断して製繩機にて繩状の紐となし、これを通路を備えたホッパーを通して新樹脂とともに抽出装置に送り込み均質なフィルムに再生することを特徴とするフィルム状プラスチッククラップの再生方法。
3) 「エチレンの重合法」 特許番号第574361号 特公昭44-32417 特願41-62593 井沢正一 吉田敏郎 鈴木祐二	登録45. 6. 3 公告44.12.24 出願41. 9.22		アルミニウム単体、四ハロゲン化チタンおよびアルカリ金属アミドよりなる触媒系エチレンを接触せしめることを特徴とするエチレンの重合法。
4) 「農園芸用殺菌剤」 特許番号第577046号 特公昭45-1078 特願42-45976 迫村寿男 入江邦博 井上 実 高尾忠行	登録45. 7. 1 公告45. 1.14 出願42. 7.17		<p>一般式</p>  <p>(ただしRは Cl, Br 置換または置換せざるメチルまたはエチル基を、Xは Cl または Br でその置換位置は2・4・5を表わす。)にて示される化合物を有効成分とし、その1種または2種以上よりなることを特徴とする農園芸用殺菌剤。</p>
5) 「プロピレンオキサイドの製造法」 特許番号第589723号 特公昭44-5848 特願昭39-19210 伊香輪恒男(東工大) 武藤 実 新谷孝司 松本基太郎 永廻 登	登録45.11.19 公告44. 3.13 出願39. 4. 6		プロピレンとアセトアルデヒドの混合ガスを必要に応じて飽和炭化水素、または窒素、炭酸ガス等の不活性ガスの存在下に反応温度90~170°C、反応圧力 3~90 kg/cm <sup>2</sup> で酸素または酸素含有ガスにより酸化し、プロピレンオキサイドおよび酢酸を主成分とする含酸素有機化合物を製造することを特徴とするプロピレンの気相酸化法。

## &lt;米国特許&gt; 5件

1) "Method of Polymerization and Copolymerization of Internal n-Olefins with their Isomerization to Corresponding Terminal n-Olefins" 米国特許番号3489731 '70. 1.13 " 出願番号562111 '66. 7. 1 (特願昭40-40700) 井本利一郎 清水明彦 大津隆行 井本 稔	内部n-オレフィンをもⅢ族有機金属化合物、Ⅳ~Ⅴ族遷移金属化合物およびⅧ族遷移金属化合物の三成分系からなる複合触媒を用いて相当する末端n-オレフィンに異性化しながら重合せしめ相当するポリ末端n-オレフィンを製造する方法。
--	--

特許番号 公告番号	名 称 出 願 日	登 録 日 発 明 者	要 旨
2) Catalytic Production of High Molecular Weight Polyethylene” 米国特許番号3503947 “ 出願番号459441 (特願昭39-34244) 小坂勇次郎 小原百門 藤田宣弘 柴田 泰二	'70. 3.31 '65. 6.15		一般式MSRで表わされ、Mは周期律表第1族金属で特にナトリウムおよびカリウムであり、RS-はメルカプト基であるメルカプチドと四塩化チタンのモル比0.05~4.0の範囲で反応を行わせて得られる固体生成物とトリアルキルアルミニウムおよびチタニウムテトラアルコキシドの組合せ触媒の存在下でエチレンを重合させて密度0.91~0.98を有するエチレン重合体を得る。
3) “Process for the Preparation of Chloroprene Terpolymers” 米国特許番号3514431 “ 出願番号794384 (特願昭43-4525) 井沢正一 清水明彦 紀 隆之 鳴井 衛 弘中武士	'70. 5.26 '69. 1.27		スチレンユニットとアクリロニトリルユニットを次の関係式 $St > 0.2$ $0.2 < AN < 3.0$ $0.7 - AN < St < 4.0 - 1.7AN$ (ただし、St, AN はそれぞれスチレンユニット、アクリロニトリルユニットの全重合体に対する重量百分率を示す)を満足する組成範囲で含むクロロブレン三元重合体を30~65°Cで重合することを特徴とする加工性および性質優秀なる耐寒性クロロブレン共重合体の製造法。
4) “Process for Removing Titanium from Titanium-containing Phosphoric Acid” 米国特許番号3529932 “ 出願番号665956 (特願昭41-71387) 井本利一郎 迫村寿男 菊池光雄	'70. 9.22 '67. 9. 5		不純物としてチタンを含有する不純リン酸に脂肪族アルコールを溶剤としてリン酸を抽出する際に3価の鉄イオンを共存せしめつつ抽出をおこない、チタンを溶剤相に移行し難くすることを特徴とするチタン含有リン酸中のチタンの除去法。
5) “Process for Recovering Mercury from a Mercury-containing Sludge” 米国特許番号3536597 “ 出願番号676512 (特願昭41-69145) 矢守勝二 高德宗忠 宮原昭二 大曲隆昭 北村匡男	'70.10.27 '67.10.19		水銀法塩化アルカリ電解による苛性アルカリ製造工程において、塩化アルカリ水精製槽に生ずるスラッジを分別した固形物を酸に溶解し、アルカリで中和し、又は中和することなく、アニオン交換体と接触せしめて水銀を該交換体に吸着せしめ、該交換体を酸で処理して水銀を脱着し、その脱着液を精製塩化アルカリ水の中和を用い、この中和された精製塩化アルカリ水を電解槽に送る。

## &lt;英 国 特 許&gt; 2件

1) “Process for the Dimerization of $\alpha$ -Olefins” 英国特許番号1182515 “ 出願番号48954/68 (特願昭42-67333) 井沢正一 山田静夫 小笠谷一郎	'70. 6.24 '68.10.16		一般式 $R_3Al$ または / および $R_2AlH$ であらわされる有機アルミニウム化合物(但し、Rは $C_{2-6}$ のアルキル基)と一般式 $Ti(OAr)_4$ であらわされるアリルチタネート類(但し、Arは $-C_6H_5$ をはじめ $-C_6H_4 \cdot CH_3$ , $-C_6H_4 \cdot Cl$ , $-C_6H_4 \cdot NO_2$ で示される aryl 基またはその誘導体)からなる触媒に $\alpha$ -オレフィンと接触せしめることを特徴とする $\alpha$ -オレフィンの二量化または共二量化法。
2) “Process for Removing Titanium from Titanium-containing Phosphoric Acid” 英国特許番号1185206 “ 出願番号45764/67 (特願昭41-71389) 井本利一郎 迫村寿男 菊池光雄	'70. 7.22 '67.10. 6		米国特許4)と同一。

## ＜イタリー特許＞ 6件

特許番号 公告番号	名称 出願日	登録日 発明者	要 旨
1) “Procedimento per Preparare Terpolimeri di Cloroprene” 伊国特許番号862879 “ 出願番号34380A/69 (特願昭43-4525) 井沢正一 清水明彦 紀隆之 鳴井 衛 弘中武士	’70. 4. 15 ’69. 1. 23		米国特許3)と同じ。
2) “Stabilizzazione di Acido Acrilico o Suoi Esteri” 伊国特許番号863991 “ 出願番号51934A/69 (特願昭44-4645) 大槻 進 宮之原勲	’70. 4. 15 ’69. 5. 21		アクリル酸またはそのエステルを含む系の蒸留において、重合防止剤としてヒドロキノン、フェノールおよび空気(または酸素)を各々 50 ppm 以上、200 ppm 以上および1% (0.2%) 以上共用することを特徴とする。
3) “Procedimento per l’Esterazione di Acido Acrilico” 伊国特許番号864648 “ 出願番号52216A/69 (特願昭44-8444) 大槻 進 宮之原勲	’70. 5. 2 ’69. 6. 13		アクリル酸とメチルあるいはエチルアルコールよりアクリル酸メチルあるいはエチルエステルを製造するに際し蒸留塔を用い塔上部よりアクリル酸を、塔下部よりアルコールを供給し、連続的に反応と同時に蒸留を行わせ還流比を1以下に保つことによって生成該エステルと塔に供給された水および生成水の大部分を塔頂より留出させ、塔底より実質的にアクリル酸の存在しない状態で高沸点物質を排出させることを特徴とするアクリル酸エステルの製造方法。
4) “Procedimento per la Preparazione di 2-Butilene-1,4-Diol da Diclorobutileni” 伊国特許番号864724 “ 出願番号52366A/69 (特願昭43-45568, 43-43749の併合出願) 迫村寿男 木佐木尚 真淵俊介 堤 幸弘 多田 孝	’73. 5. 2 ’69. 6. 24		ジクロロブテン混合物から2-ブテン-1,4-ジオールを製造するにあたり、ナトリウム、カリウム、カルシウムなどの水に可溶性の半酸塩を用いて水の存在下に反応せしめることを特徴とする方法および、ナトリウム、カリウム、カルシウムなどの水に可溶性の半酸塩に銅、鉄並びに亜鉛からなる群から選ばれた金属単体もしくはそれらの化合物を添加して行うことにより実質的にすべて2-ブテン-1,4-ジオールに変換せしめることを特徴とする方法。
5) Polimero ad Innesto di Cloruro di Vinile e Relativo Procedimento di Produzione 伊国特許番号878356 “ 出願番号24623A/69 (特願昭43-85481) 小坂勇次郎 植村 勝 齊藤光高 鈴木 祐二 高本邦夫	’70.11. 2 ’69.11.18		エチレン酢酸ビニル共重合体または/及びエチレン-アクリル酸エステル共重合体の塩素化物に塩化ビニル単体をグラフト重合させることを特徴とする塩化ビニルグラフト重合体の製法。
6) Procedimento per la Preparazione di 1,4-Diacetossi-2-Butilene da Diclorobutileni 伊国特許番号879544 “ 出願番号52276A/69 (特願昭43-43125) 迫村寿男 木佐木尚 真淵俊介 多田 孝	’70.11. 6 ’69. 6. 18		3,4-ジクロロ-1-ブテン又はこれと1,4-ジクロロ-2-ブテンとの混合物を酢酸のアルカリ金属塩と反応せしめて酢酸エステルを製造するにあたり銅、鉄、亜鉛の金属単体及びこれらの金属の化合物から選ばれた少なくとも1種を添加することにより1,4-ジアセトキシ-2-ブテンを選択的に製造する方法。